

日光市の文化財 28

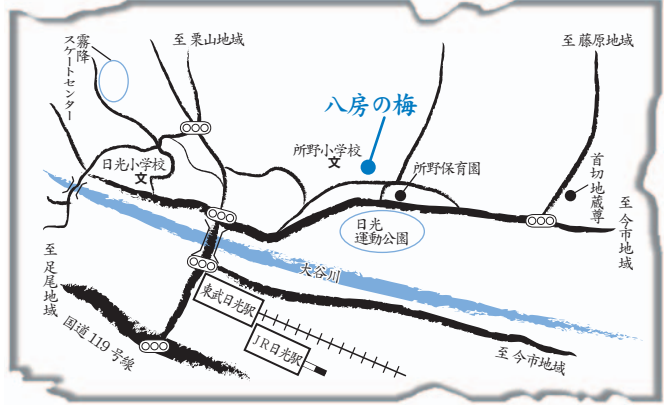
八房の梅



【種別】天然記念物
【所在】日光市所野
昭和41年6月27日旧日光市指定

字路を右折し、さらに突き当たりを左に二五〇メートルほど進んだ個人宅の庭の片隅に、八房の梅があります。八房の梅は、もともと徳川家康が駿府で大切にしていた梅を、東照宮に移植したものとされています。この梅は大正末年に枯れてしまいましたが、所野の稲荷神社には、その枝を移植し成長した老木がありました。さらに一〇〇年ほど前に、この老木の枝を現在の場所へ移植したものが、現存する八房の梅です。その由緒の正しさから文化財に指定され、春には濃い紅色の花を咲かせ、庭先に彩りを添えています。

なお、この文化財は個人住宅の敷地内にありますので、見学の際は所有者・近隣の方の迷惑にならないようご配慮ください。



このコーナーでは、市で所有する絵画を紹介します。

GALLERY ④

「日比谷公園」



木村莊八作 1912(大正元)年
油彩・板
23.2cm×33.1cm
小杉放菴記念日光美術館所蔵

うねるような力強いタッチ。大胆で鮮やかな色使い。画面の骨組みをなすかのような太い輪郭線。まるでゴッホを思わせるような、この油彩画「日比谷公園」を描いたのは、洋画家の木村莊八(1893~1958年)です。

明治時代の東京で繁盛していた牛鍋店「いろは」に生まれた莊八は、支店のあった日本橋、浅草、京橋を転々と移り住み、江戸の名残りとして外国文化の流入によるモダンな香りに包まれながら、やがてセザンヌやゴッホらポスト印象派の画家たちに魅せられました。

本作が描かれた1912年前後、莊八は積極的にこうした画家たちの紹介記事を美術雑誌へ寄せており、個性が問われる新しい時代の訪れを予感させたのです。

その後、莊八は岸田劉生と共にヒュウザン会、草土社といった、大正期の美術を語る上で欠かすことのできない重要な洋画団体を結成。1922年には小杉放菴を中心とする春陽会に参加し、以後油絵・挿絵の分野で活躍していきました。

市民文芸

高橋秀雄さん
児童文学者協会賞に輝く

日光人のコーナーでも紹介しましたが、今年の日本児童文学者協会賞に、日光市小林出身(宇都宮市在住)の高橋秀雄さんが選ばれました。

同賞は、児童文学の創作や評論・研究の優れた単行本に対して与えられる賞で、過去の受賞者には、後藤竜二さんや木暮正夫さん、あさのあつこさんなどがいます。

受賞作の「やぶ坂に吹く風」は、昭和30年代の小林地区を舞台に、貧しくても心豊かに成長していく少年を主人公にした物語です。ふるさと小林の風景やそこに住む人々の生活、特に少年やその仲間の姿が生生きと描かれ、互いに助け合いながら生きていく様子が克明に表現されています。高橋さんは、平成7年に「月夜のバス」でデビューしました。



以後、「けんか屋わたるがゆく!」「しいちゃんのいる囲炉裏ばた」「ほくの家は」「ミ屋敷!」「ほくのヒメマス記念日」「父ちゃん」「やぶ坂に吹く風」「ほくの友だち」と、これまでに単行本を8冊出版しました。今回受賞した「やぶ坂に吹く風」は、「父ちゃん」の続編です。

「父ちゃん」では、小学4年生の主人公・良夫が義父の「悟」やんを「父ちゃん」と呼べるようになるまでが描かれています。その良夫が6年生になり、この物語が始まります。高橋さんは年内に、塩谷町船生を舞台にした「朝霧の立つ川」と、受賞作の続編「やぶ坂からの出発」の2冊を出版予定のこと。

貧しくとも、人情味にあふれていた昭和30年代。皆さんも、「やぶ坂に吹く風」を読んでみませんか。あの懐かしい時代がよみがえってくるかもしれませんよ。

川柳 選者 日野原元児

- お勝手の音一日の幕が開き 小野口英一郎
- 謎一つ余白残して筆を留め 青木竜雄
- 髪染めて春の名残りを跳ぶつもり 田中孝
- 赤丸が大きく囲む子の帰省 藤本美佐子
- ほめられて幸せそうに見る鏡 吉新勝夫
- 母さんの笑顔家族へうつります 福田英子
- お囃子のテンポを上げるにわか雨 吉原一典

俳句 選者 須藤火珠男

- 詩囊やや衰へしかと牡丹視る 星野恒志
- 一病をさつとさらしい初夏の風 鈴木キ又子
- 雷の一閃夕餉断ちにけり 渡辺ミチ子
- 茄子の花今朝は多めに如露の水 斉藤愛華
- 来るはずの未だ来ぬ人や遠郭公 池田三夫
- 万緑や山小屋風の道の駅 伊藤清
- 手をつきて顔中で飲む岩清水 酒井智恵子

短歌 選者 阿久津伸一

- 庭木さえ緑の衣まといいるに人々裸で舞台にまいまう 大出喜代
- 人の輪に話はずめり初ものの味のうまさには箸もはかどる 金田満寿子
- 老母寝入りメッセの街もねむる夜半明日への力貯めて静もる 関根眞佐子
- 独り居を囲む竹の葉おびただし竹の秋とう詩情に遠し 高野恒子
- 星月夜に薔薇一輪をまさぐれば紅きピロッド膚なまめく 福田勉
- 象の鼻突出し断崖万座毛息を呑むなり群青の海 和田よし
- 初孫の産声聞けばあつきもの胸にあふるる五月の空に 星恭子

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌のを募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。応募先及びくわしくは秘書広報課 広報広聴係 (21)5135・FAX(21)5109